

## 資料 2 - 2

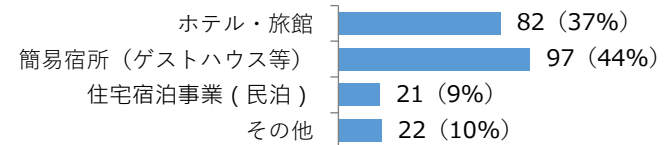
# 事業者アンケート結果

町内の宿泊事業者の実態と、観光や宿泊税に関する意向を把握するため、町内の全宿泊施設を対象に実施した。

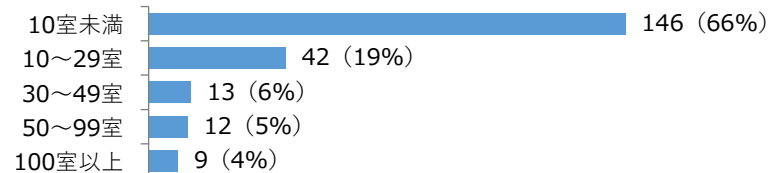
|      |                                                                                   |
|------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 対象者  | 町内の宿泊事業者 723施設                                                                    |
| 調査方法 | 各事業者へ案内はがきを郵送し、はがきに記載の二次元コードからオンライン上で回答                                           |
| 主な設問 | 施設の基本情報（種別・客層・受入環境等）／経営状況と経営課題／富士河口湖町の観光の強み・不足しているもの／町に期待する支援／宿泊税の認知状況・不安なこと／自由意見 |
| 回収期間 | 2026年8月4日発送（締切8月31日／リマインドのうえ9月15日まで受付）                                            |
| 回答数  | <b>222件</b> （回収率 30.7%）                                                           |

※ 回答は10室未満 66%・従業員1～5人 74%と、小規模事業者が中心。

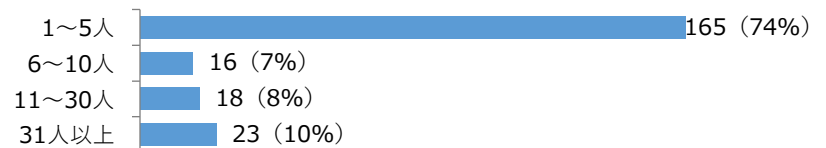
## 施設種別（n=222）



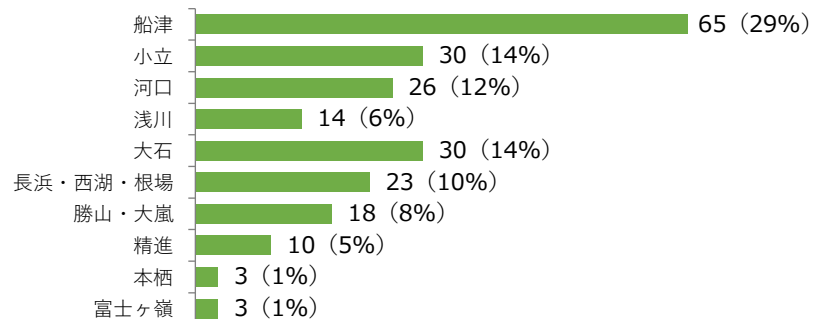
## 客室数



## 従業員数



## 所在地域



調査結果のサマリーは以下の通り

## ■ インバウンド 外国人比率は「二極化」

外国人宿泊者「半数以上」**47%** ⇔ 「ほぼいない・1割未満」**34%**。多い国・地域は台湾・アメリカ・香港の順。

## ■ 経営 最大の経営課題は「老朽化・設備更新」。投資意欲は一定程度存在。

経営課題1位「老朽化・設備更新」**40%**。今後強化したいことは「宿泊単価向上」**52%**・「客室や施設改修」**47%**と、設備投資・単価向上への意欲が見られる。

## ■ 町への評価 強みは自然景観で圧倒的合意。不足は「受入環境」に集中

強み「湖と富士山の自然景観」**97%**・「都市圏からのアクセス」**61%**。不足は「渋滞対策」**38%**を筆頭に二次交通・ごみマナー等が上位で、旅行者アンケートの低満足項目と一致する。

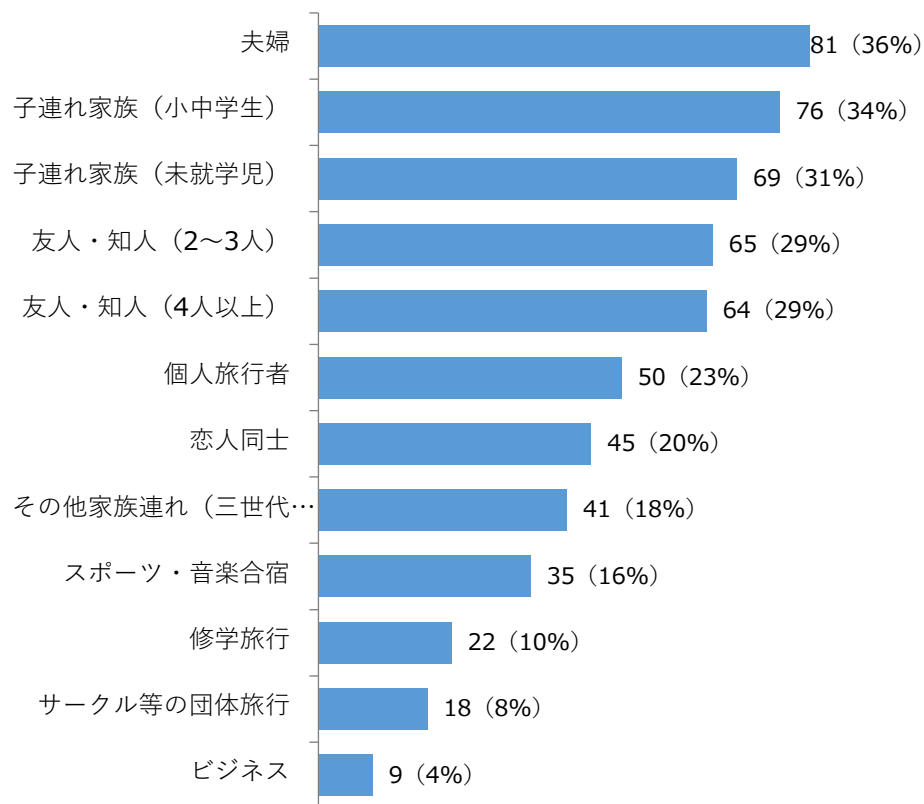
## ■ 宿泊税 内容まで理解しているのは約46%。「説明・事務の負担」への不安が大きい

不安は「宿泊客への説明負担」**71%**・「事務負担」**67%**。丁寧な情報提供・事務負担軽減・使途の見える化（充当方針）が必要。

# 回答者の宿泊客層とインバウンドの状況

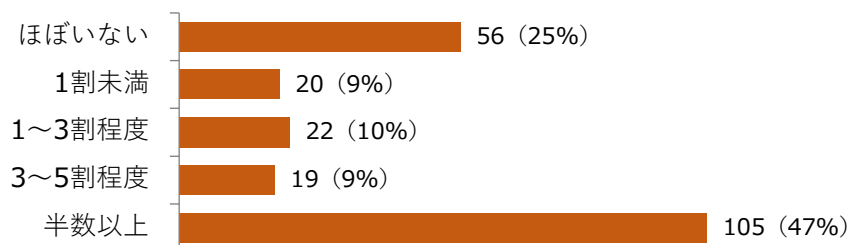
- 客層は夫婦・子連れ家族・友人グループが中心。合宿・修学旅行の受け皿となっている施設も一定数。
- 外国人比率は「半数以上」**47%**と「ほぼいない・1割未満」**34%**に二極化。多い国・地域は台湾・アメリカ・香港の順で、欧米豪も上位。

## 主な宿泊客層（3つまで）

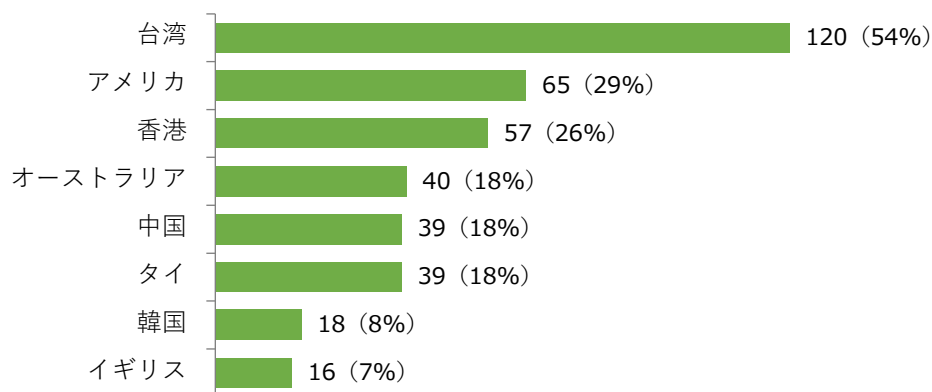


※ このほか自由記述（その他） 6件

## 外国人宿泊者の割合



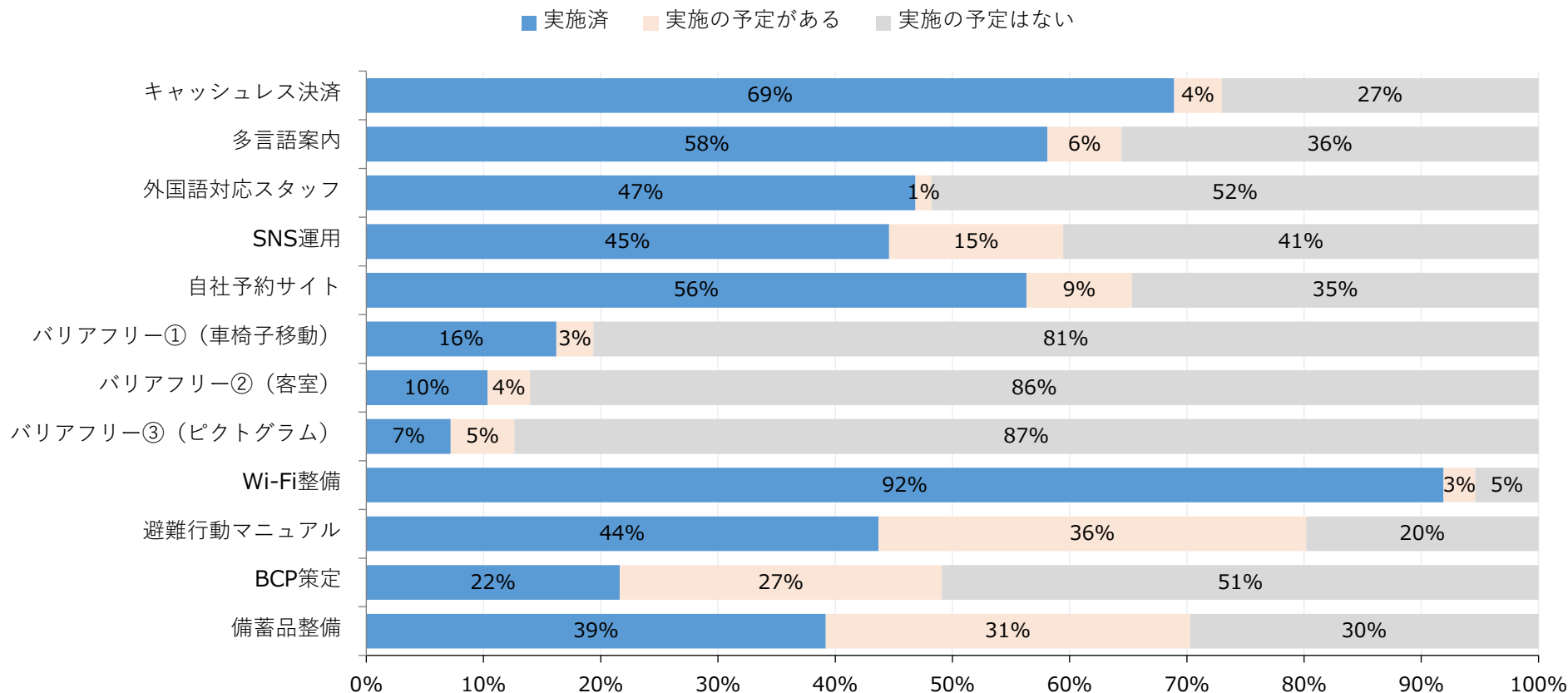
## 外国人で多い国・地域（3つまで）



※ このほか自由記述（その他） 95件（「外国人宿泊はほぼいない」等の回答を含む）

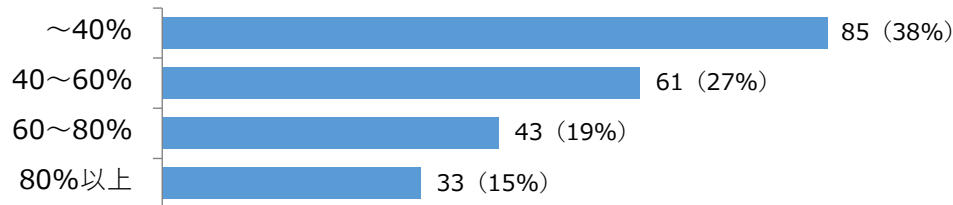
# 受入環境・取組状況（12項目）

- Wi-Fi（実施済 **92%**）・キャッシュレス決済（**69%**）・多言語案内（**58%**）は標準装備化が進む一方、バリアフリー対応は1～2割にとどまる。
- 防災系（避難行動マニュアル・BCP・備蓄品）は「実施の予定がある」を含めて動きの途上であり、計画の基盤強化（レジリエンス）の裏付けデータとなる。

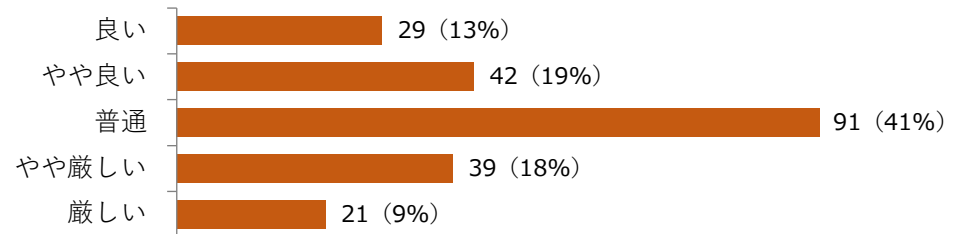


- 経営状況は「普通」以上が **73%** だが、客室稼働率は「～40%」が **38%** と施設間の幅が大きい。
- 課題の最多は「老朽化・設備更新」 **40%**（課題整理I-2の裏付け）。強化したいことは「宿泊単価向上」 **52%**・「客室や施設改修」 **47%**と、投資意欲がうかがえる。

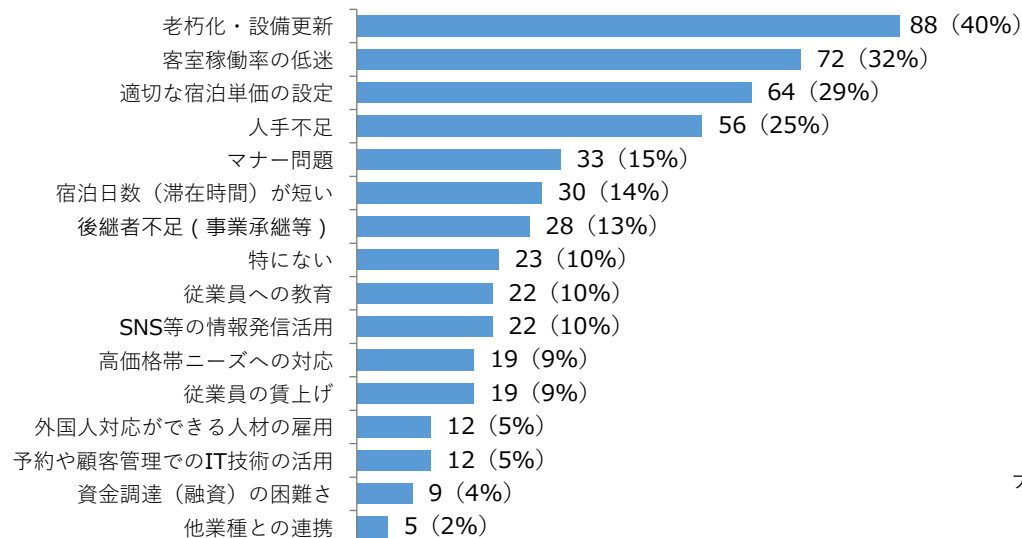
## 年間の客室稼働率



## 現在の経営状況

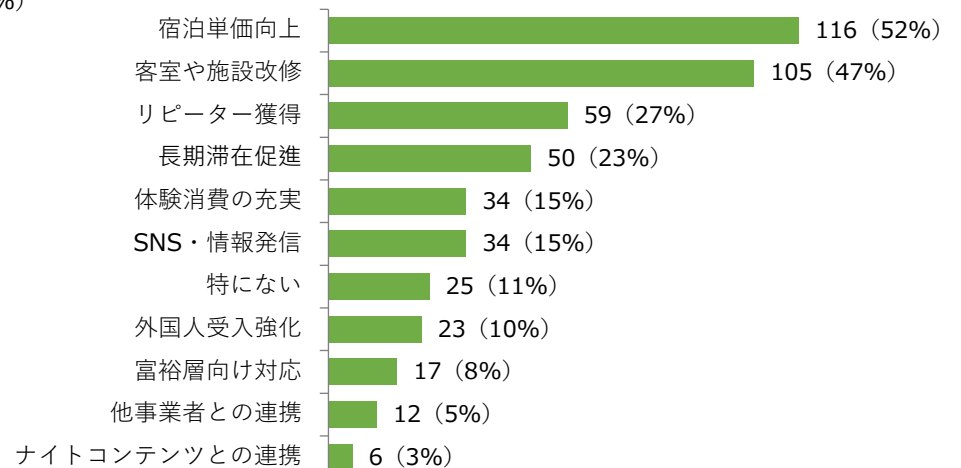


## 経営課題（3つまで）



※ このほか自由記述（その他） 7件

## 今後3～5年で強化したいこと（3つまで）

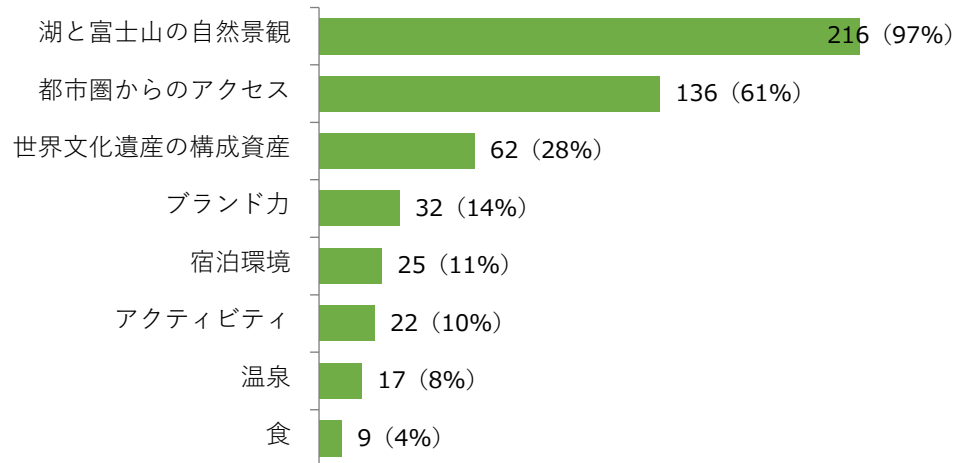


※ このほか自由記述（その他） 5件

# 富士河口湖町の観光への評価（強み・不足）

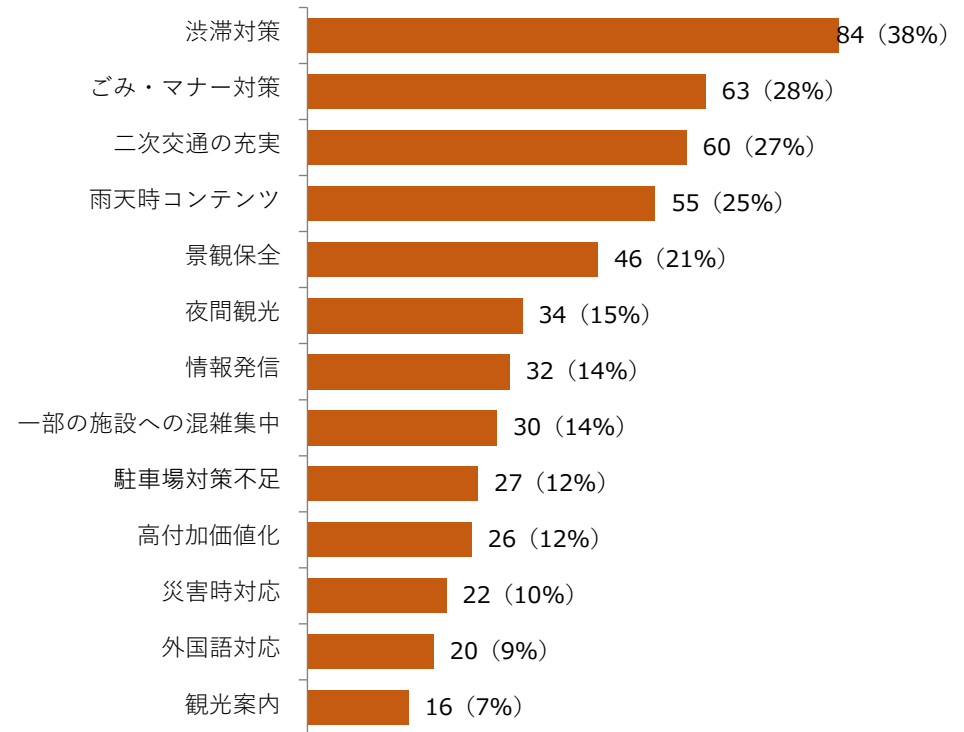
- 強みは「湖と富士山の自然景観」**97%** で圧倒的な合意。「都市圏からのアクセス」**61%**、「世界文化遺産の構成資産」**28%** が続く。
- 不足は「渋滞対策」**38%** を筆頭に受入環境系が上位で、旅行者アンケートの低満足項目（交通・混雑・トイレ）と一致する。雨天時・夜間など「滞在中の過ごし方」の不足も上位。

## 観光の強み（3つまで）



※ このほか自由記述（その他） 3件

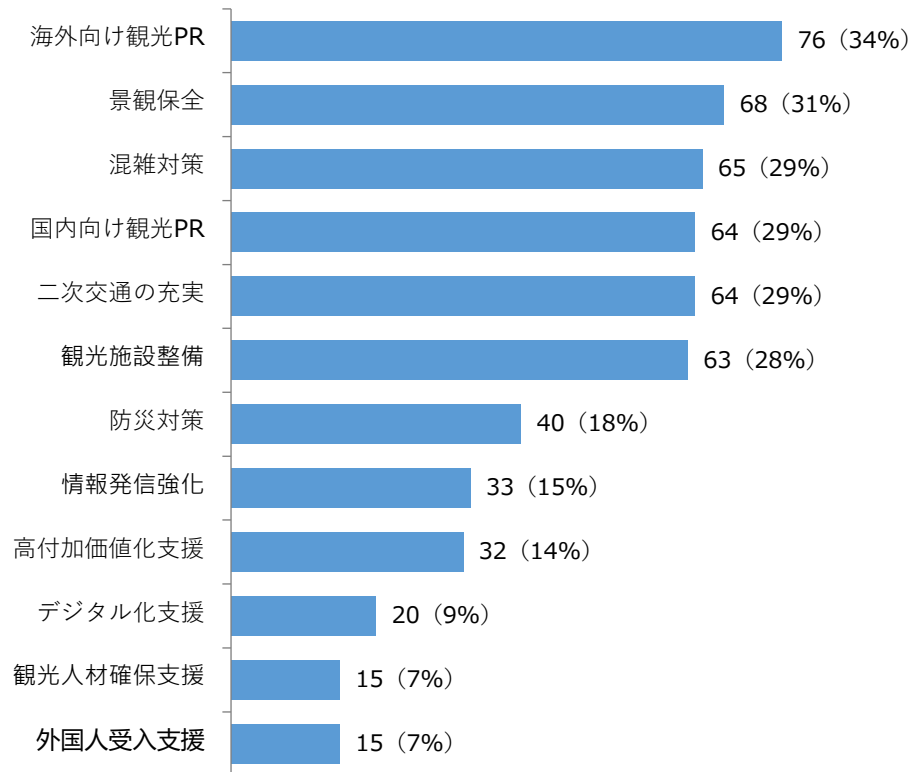
## 観光地として不足しているもの（3つまで）



※ このほか自由記述（その他） 40件（歩道・公共トイレ・タクシー不足・食事処 等）

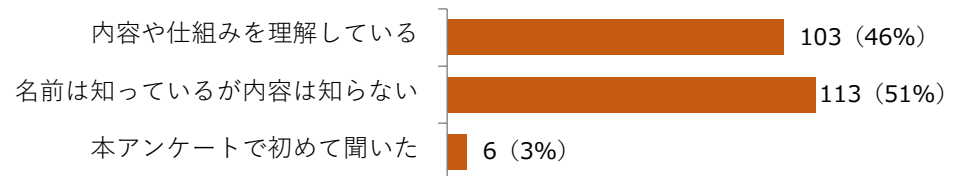
- 期待する支援は観光PR・景観保全・混雑対策・二次交通が上位で、個社支援より「地域全体の魅力・受入環境」への期待が強い。
- 宿泊税を「内容まで理解している」のは **46%**。不安は「宿泊客への説明負担」**71%**・「事務負担」**67%**。丁寧な情報提供と事務負担軽減策、使途の見える化（充当方針）が必要。

## 町に特に期待する支援（3つまで）

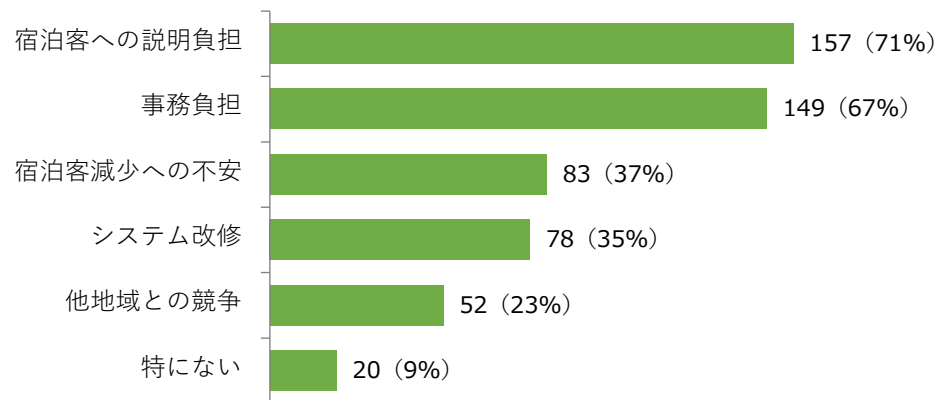


※ このほか自由記述（その他） 16件

## 宿泊税の認知状況



## 宿泊税導入で不安なこと（複数回答）



※ このほか自由記述（その他） 25件。使途の明確化・透明性を求める声が目立つ